

■坂田藤十郎(初世) 歌舞伎役者。元禄上方を代表し、生没が明らかな最初の人気役者で、菊池寛「藤十郎の恋」の主人公。
さかたとうじゅうろう
・・・・・・1647 = 生。_京都の座元市右衛門の子。

徳川家光没・1651 = 4歳：

・・・・・・1656 = 9歳：
明暦の大火・1657 = 10歳：

諸宗寺院法度1665 = 18歳：
酒井忠清大老1666 = 19歳：
青年時代は芸芸修練に励み、

・・・・・・1674 = 27歳：
・・・・・・1676 = 29歳：_この頃には、立役で京の都万太夫座四天王の一人とされ、
藤十郎登場・1678 = 31歳：*大坂で演じた「夕霧名残の正月」の伊左衛門はその名声を高め、
徳川綱吉將軍1680 = 33歳：
_以来、夕霧狂言の伊左衛門は生涯の当り芸として繰り返される。

八百屋お七・1683 = 36歳：
堀田正俊暗殺1684 = 37歳：

生類憐令始・1687 = 40歳：

主として京都で活躍し、狂言も作ったが、
世間胸算用・1692 = 45歳：
奥の細道・1693 = 46歳：_「仏母摩耶山開帳」の頃から近松門左衛門の作を多く演じ、
生類憐令頂点1695 = 48歳：*以来、位付は立役上上吉。

・・・・・・1699 = 52歳：_「傾城仏の原」の梅永文蔵、

松の廊下事件1701 = 54歳：
赤穂浪士討入1702 = 55歳：*「傾城王生大念仏」の高遠民弥などを、代表的な当り芸に、

傾城買狂言を形成するやつし事、濡れ事、くぜつ事などを最も得意とし、せりふ、特に長ぜりふの仕方咄に巧みであった。武道事、所作事は不得手であったが、元禄期上方歌舞伎の和事を作り上げて後世に伝えた功は大きい。

徳川綱吉没・1709 = 62歳：_没した。